

Bacteroides ovatus由来の α -キシロシダーゼ 31A、組換え

Cat. No. NATE-1525

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 アルファ-D-キシロシドキシラーゼ（EC 3.2.1.177、アルファ-キシロシダーゼ）は酵素です。この酵素は次の化学反応を触媒します：末端の非還元性アルファ-D-キシロース残基の加水分解とアルファ-D-キシロースの放出。酵素は、キシログルコオリゴ糖の極端な還元末端にある末端の置換されていないキシロシドの加水分解を触媒します。

別名 アルファ-D-キシロシド xylohydrolase; EC 3.2.1.177; アルファ-キシロシダーゼ; α -キシロシダーゼ

製品情報

種	バクテロイデス・オバタス
由来	E. coli
形態	35 mM NaHepesバッファー、pH 7.5、750 mM NaCl、200 mM イミダゾール、3.5 mM CaCl ₂ 、0.02% ナトリウムアジ化物および25% (v/v) グリセロール
EC番号	EC 3.2.1.177
分子量	93 kDa
純度	>SDS-PAGEによって判断された90%
濃度	0.5 mg/mL
最適pH	7.2
最適温度	25 °C
特異性	α -キシロースは α -キシランの末端から得られます

保管・発送情報

保存方法 この酵素は常温で出荷されますが、-20 °Cで保存する必要があります。